令和６年度版

みんなと学ぶ

小学校理科

年間指導計画作成資料

3年

令和６年度版
みんなと学ぶ小学校理科 3年

年間指導計画について

モンスター図かん

令和２年度からの新学習指導要領に沿った「令和６年度版 年間指導計画」は，『みんなと学ぶ小学校理科』の指導計画の一案として提示したものです。

- 授業配当時数については，３年生は 90 時間，４～６年生は 105 時間になっています。
- ３学期制で行う場合と，２学期制で行う場合それぞれの区切りを提示しています。
- 本書 p.4 の年間指導計画の配当時数については，単元名の右の数字で示すとともに，左のマス目１つ分が１時間を表しています。マス目のグレーに塗られた部分が配当時数，白く塗られた部分がゆとりの時間を示しています。

■ 資質・能力について

『みんなと学ぶ小学校理科』では，学習指導要領の改訂を受け，育成する３つの資質･能力を下記のように示しました。また，それらの資質・能力を「５年で出会える理科モンスター」とし，学習で力をつけると仲間になれるキャラクターとして示しています。モンスターについては本書 p.5 をご覧ください。

「知識・技能」 教 p.4 モンスター（背景：黄）

知識：本文中の「わかったこと」及び，「 」マーク

技能：観察，実験などに関する基本的な技能（観察，実験などに関する器具の使い方や記録の仕方など）

「思考力・判断力・表現力等」 教 p.4 モンスター（背景：青）

３年：（比較しながら調べる活動を通して）自然の事物・現象について追究する中で，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現すること。

４年：（関係付けて調べる活動を通して）自然の事物・現象について追究する中で，既習の内容や生活経験を基に，根拠のある予想や仮説を発想し，表現すること。

５年：（条件を制御しながら調べる活動を通して）自然の事物・現象について追究する中で，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現すること。

６年：（多面的に調べる活動を通して）自然の事物・現象について追究する中で，より妥当な考えをつくりだし，表現すること。

しかし，学習指導要領にも「主に」とあるように，その他にも学習の中でつけてほしい力があります。そこで，弊社は，問題解決の流れに沿って，学年で意識してつけたい力（資質・能力）を学年冒頭に示し（図１の点線囲み），さらに学習内容の特性に合わせて，それらの力の中から３つずつ，各単元冒頭に示しました。

「学びに向かう力・人間性等」 教 p.4 モンスター（背景：ピンク）

自然を愛する心や生命を尊重する心，粘り強い取り組みを行う中で自らの学習を調整しようとする態度を示しています。観察，実験後や，単元末の「できるようになった」などで振り返り，自らの学びを意識する場面を設けました。

図１ 学年冒頭　科学のめを育てよう

■ 観点別目標と評価規準について

本書 p.6 からの「観点別目標と評価規準」は，学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況を見る評価（いわゆる絶対評価）を行う際に，評価内容の一案として文部科学省が提示したものを掲載しています。１時間ごとに子どもの活動のようすを見取り，単元末にそれが概ね達成できたときにＢ評価となるように設定されています。

観点別評価は，**「めざす学力の質の違いに合わせて多様な評価方法の使用を促す点に主眼があり，１単元や１学期といったスパンで考えるべきもの」**とされています。評価は，以下の２つに分けられます。

・**総括的評価**（最終的な学習成果の判定（評定）のための評価）

・**形成的評価**（指導を改善し子どもを伸ばすために行われる評価）

思考力・判断力・表現力を形成するために授業過程での子どもたちの活動やコミュニケーションを観察（評価）し，形成的評価として指導に生かします。総括的評価の材料，子ども一人一人について，確かな根拠を基に客観的に評価することが求められますが，形成的評価なら，指導の改善につながる程度の厳密さで，ポイントになる子を机間指導でチェックしたり，子どもたちとやり取りしたりすることを通して，子どもたちの理解状況や没入度合などを直観的に把握するなどが行われる形となります。

今回の評価改革では，形成的評価と総括的評価とを区別した上で，観点別評価（分析評定）重視の方向性が提起されるとともに，評定以上に教師の指導改善，さらには学習者自身の学習改善につながる評価であることが強調されています。いかに客観的に測定・評定するかのみにとらわれがちな判定ベースから，いかに子どもを伸ばすかを第一に考えるコミュニケーション（対話）ベースへと評価観の転換が求められているのです。

（石井英真　「指導要録改定と評価改革の方向性」TEADA　no.26　学校図書）

これらの流れを受け，現段階では，**「内容のまとまり（単元）」ごとで大きく評価**するという形で資料を作成しています。「学びに向かう力・人間性」の自然を愛する心のように感性・思いやりの心などは個人内評価に留め，粘り強い取り組みを行う中で自らの学習を調整しようとする態度などを評定するようになりました。

●評価の観点

「知識・技能」

「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」

これらの資料を基に，地域や学校の諸事情を考慮し，より使いやすい指導計画を作成していただければ幸いです。

「内容のまとまりごとの評価規準」

単元の配当時数，どの場面でどの力を主に育むか。

3 かげと太陽

教科書 p.24～39

影の位置や日なたと日陰の様子に着目する中で，太陽と影の関係や日なたと日陰の地面の暖かさを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を図や表に表して考える力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観点	評価規準
知識・技能	●日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ●地面は太陽によって暖められ，日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 ●太陽と地面の様子について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●太陽と地面の様子について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●太陽と地面の様子について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　☆もっとしりたい

	学習活動（総時数８時間）	時	知	思	態
1次	①かげのてき方 ●かげの向きと太陽の見える方向にを調べる　【１かんさつ】（しゃ光板の使い方）（並ぶてまるこ）	2	1・2	●	●
2次	②かげのいちと太陽 ●かげの動きから太陽のいちを調べる　【２かんさつ】 ●かげの動きから太陽のいちを調べる　【２かんさつ】（けっかから考える） （方位じしんの使い方） □やってみよう！　日時計	3	3 4・5	● ●	● ●
3次	③日光のはたらき ●日なたと日かげの地面の温度を調べる　【３かんさつ】（温度計の使い方）（地面の温度のはかり方） ●日なたと日かげの地面の温度を調べる　【３かんさつ】（けっかから考える）（まとめる） ☆日光のはたらき	3	6・7 8	● ●	● ●

8　○目標と観点別評価基準

3年　年間指導計画

学期		月	週	単元	時数	ゆとり
1学期	前期	4	2	理科の世界をぼうけんしよう	0	1
				1. しぜんのかんさつ	4	0
		5	4	2. 植物を育てよう　2-1 たねをまこう	3	0
				3. かげと太陽	8	0
		6	4	● 2-2 ぐんぐんのびろ	3	0
				4. チョウを育てよう	8	1
		7	2	● 2-3 花がさいた	1	0
30				● わたしの自由研究	0	1
2学期		9	3	5. こん虫を調べよう	3	2
				● 2-4 実ができるころ	2	0
		10	4	6. 音を調べよう	5	1
	43					
	後期			7. 光を調べよう	6	1
		11	4	8. 風のはたらき	5	0
				9. ゴムのはたらき	5	0
		12	3	10. 明かりをつけよう	7	1
38						
3学期		1	3	11. じしゃくのひみつ	10	2
		2	4			
		3	3	12. ものの重さを調べよう	6	2
22	47			科学者を知ろう	0	1
				理科の世界をふりかえろう	0	1
90	90			標準時間	76	14

図2 学年冒頭　理科の世界をぼうけんしよう（領域ごとの見方の提示）

■ 理科モンスターについて

令和６年度版『みんなと学ぶ小学校理科』では，学習指導要領で示されている，育成する３つの資質・能力をキャラクターで示しています。また，学習指導要領解説 理科編 p.26 に示されている「思考力，判断力，表現力等及び学びに向かう力，人間性等に関する学習指導要領の主な記載」については，該当するキャラの**レベルアップ**で質の高まりを表現しています。

モンスター図かん

図3
p.4-5
理科モンスター（つけたい資質・能力）と学びの流れ，考え方

図4
p.182-183
学年末の学習の振り返り

1 しぜんのかんさつ

教科書 p.6 ～ 15

身の回りの植物などを探す中で，その姿や生きている場所を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察や記録などに関する技能を身につけるとともに，差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や整理しまとめる力，生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●生物は，色，形，大きさなど，姿に違いがあること，また，周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ●身の回りの生物について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●身の回りの生物について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●身の回りの生物について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数 4 時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①　身の回りの生き物	4				
	○校庭や学校のまわりの，どこにどのような生き物が見られるか。 生き物をくらべると，どのようなちがいがあるか。（話し合い）		1		●	●
	●身の回りの生き物を調べる　【1かんさつ】 かんさつする（安全） 虫めがねの使い方 記ろくする ※春の野原の生き物		2・3	●	●	
	調べた生き物の記ろくをまとめ，とくちょうをくらべてならべかえたり，なかま分けしたりする。 ※図かんで調べる ※けんさくして調べる		4		●	

2 植物を育てよう

2-1 たねをまこう (p.16 ～ 23)
2-2 ぐんぐんのびろ (p.40 ～ 45)
2-3 花がさいた (p.66 ～ 67)
2-4 実ができるころ (p.80 ～ 85)

植物を育てる中で，成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察や記録などに関する技能を身につけるとともに，差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●植物の育ち方には一定の順序があること，また，その体は根，茎及び葉からできていることを理解している。 ●身の回りの植物について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●身の回りの植物について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●身の回りの植物について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●身の回りの植物についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●身の回りの植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数９時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	2-1 たねをまこう	3				
	○たねをかんさつし，記ろくする。 虫めがねの使い方		1		●	●
	●めが出たようすを調べる【1かんさつ】 記ろくする　たねのまき方		2	●		
	●植物の育ち方を調べる【2かんさつ】 植物のせい長の調べ方　まとめる		3	●	●	
2次	2-2 ぐんぐんのびろ	3				
	●植物の育ち方を調べる【1かんさつ】		1	●		
	●植物のからだのつくりを調べる【2かんさつ】		2・3	●	●	
3次	2-3 花がさいた	1				
	●植物の育ち方を調べる【1かんさつ】		1	●		
4次	2-4 実ができるころ	2				
	●植物の育ち方を調べる【1かんさつ】 □やってみよう！　根のかんさつ		1	●		
	●植物の育ち方を調べる【1かんさつ】（けっかから考える） ※いろいろな実		2	●	●	

3 かげと太陽

教科書 p.24 ～ 39

影の位置や日なたと日陰の様子に着目する中で，太陽と影の関係や日なたと日陰の地面の暖かさを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を図や表に表して考える力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ●地面は太陽によって暖められ，日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 ●太陽と地面の様子について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●太陽と地面の様子について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●太陽と地面の様子について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数８時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①かげのでき方	2				
	●かげの向きと太陽の見える方向にを調べる　【１かんさつ】 しゃ光板の使い方　記ろくする②		1・2	●	●	
2次	②かげのいちと太陽	3				
	●かげの動きから太陽のいちを調べる　【２かんさつ】		3		●	
	●かげの動きから太陽のいちを調べる　【２かんさつ】（けっかから考える） 方位じしんの使い方 □やってみよう！　日時計		4・5	●	●	●
3次	③日光のはたらき	3				
	●日なたと日かげの地面の温度を調べる　【３かんさつ】 温度計の使い方　地面の温度のはかり方		6・7	●	●	
	●日なたと日かげの地面の温度を調べる　【３かんさつ】（けっかから考える） まとめる ※日光のりよう		8		●	●

4 チョウを育てよう

教科書 p.46 ～ 65

昆虫を育てる中で，昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察や記録などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や整理しまとめる力，生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●昆虫の育ち方には一定の順序があること，また，成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解している。 ●身の回りの昆虫について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●身の回りの昆虫について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●身の回りの昆虫について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●身の回りの昆虫についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数８時間＋ゆとり１時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①チョウを育てよう	6 (1)				
	●チョウのたまごを調べる　【１かんさつ】チョウの育て方		1		●	
	●たまごからかえったよう虫を調べる　【２かんさつ】		2		●	
	●よう虫の育ち方を調べる　【３かんさつ】 ※よう虫のからだのつくり		3	●		
	●さなぎを調べる　【４かんさつ】 ○チョウの育ち方をまとめる □やってみよう　カイコの育ち方を調べよう		4・5		●	●
	●コオロギやトンボの育ち方を調べる　【５かんさつ】よう虫の育て方 □やってみよう！　こん虫の育ち方を調べよう		6			●
2次	②チョウのからだを調べよう	2				
	●チョウの成虫のからだのつくりを調べる　【６かんさつ】 ※カイコのからだのつくり		7・8	●		

5 こん虫を調べよう

教科書 p.70 ～ 79

身近な昆虫を探したり育てたりする中で，昆虫のすみかや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察や記録などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を整理しまとめる力，生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●昆虫の育ち方には一定の順序があること，また，成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解している。 ●身の回りの昆虫について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●身の回りの昆虫について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●身の回りの昆虫について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●身の回りの昆虫についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数３時間＋ゆとり２時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①生き物のようすを調べよう	2				
	●生き物のすみかを調べる　【１かんさつ】		1	●	●	
	●生き物のすみかを調べる　【１かんさつ】（けっかから考える）		2		●	
2次	②こん虫のからだのつくり	2 (1)				
	●からだのつくりを調べる　【２かんさつ】 ※こん虫ではない虫 ※いろいろなこん虫のからだ □やってみよう！　こん虫のもけいを作ろう		3・4	●		●

6 音を調べよう

教科書 p.86 ～ 95

音を出したり音の出ているものにふれたりする中で，音の性質を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や実験計画を立てたり結果を予想する力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●物から音が出たり伝わったりするとき，物は震えていること，また，音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。 ●音の性質について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●音の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●音の性質について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●音の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数５時間＋ゆとり１時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①音が出ているときのもののようす	2				
	○身の回りにあるものの音を出して話し合う		1		●	
	●音が出ているときの，もののようすを調べる　【１実けん】 ※音で調べる		2		●	
2次	②音をつたえよう	3 (1)				
	○鉄ぼうやフォークなどをたたいて，音の伝わり方について話し合う ○糸電話は，どのように音がつたわるか予想す。糸電話の作り方 ●糸電話の音のつたわり方を調べる　【２実けん】		3・4	●	●	
	※音をつたえるスピーカー　※水の中で音を聞く		5		●	●

7 光を調べよう

教科書 p.96 ～ 107

鏡を使って光をはね返したり集めたりする中で，光の性質を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察，実験などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点を基に，問題を見いだす力や計画を立てる力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●日光は直進し，集めたり反射させたりできることを理解している。 ●物に日光を当てると，物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 ●光の性質について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●光の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●光の性質について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●光の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数６時間＋ゆとり１時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①日光の進み方を調べよう	3				
	●鏡を使って日かげのまとに日光を当てて調べる。		1	●	●	
	●日光の進み方を調べる　【１実けん】 日光のはわせ方		2	●		
	●日光の進み方を調べる　【１実けん】（けっかから考える） □やってみよう！　光のリレー		3			●
2次	②日光を集めよう	3 (1)				
	●はね返した日光をまとに集めて調べる　【２実けん】 ○やってみよう！　ソーラークッカーを作ろう		4・5	●	●	
	●虫めがねを使って日光の集まり方を調べる　【３実けん】 □やってみよう！　大きな虫めがねと小さな虫めがね ※光をはね返して安全を守る ※日光で起こすオリンピックのせい火		6	●	●	

8 風のはたらき

教科書 p.108 ～ 117

風車を回す中で，風の力の働きを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点を基に，問題を見いだす力や図や表から考える力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●風の力は，物を動かすことができること，また，風の力の大きさを変えると，物が動く様子も変わることを理解している。 ●風の力の働きについて，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●風の力の働きについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●風の力の働きについて，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●風の力の働きについての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数 5 時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①風の強さと風車の回り方	3				
	○風車を回して調べる。 風車の作り方 - ①		1		●	
	●風の強さをかえて，風車の回るようすを調べる　【1実けん】		2・3	●		
2次	②風の強さとものを持ち上げる力	2				
	●ものを持ち上げる力が，風の強さによってかわるか調べる　【2実けん】 風車の作り方 - ② ※風の力のりよう		4・5		●	●

9 ゴムのはたらき

教科書 p.118 ～ 127

のばしたゴムで車を走らせる中で，ゴムの力の働きを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を予想したり図や表にまとめて考える力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●ゴムの力は，物を動かすことができること，また，ゴムの力の大きさを変えると，物が動く様子も変わることを理解している。 ●ゴムの力の働きについて，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●ゴムの力の働きについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●ゴムの力の働きについて，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●ゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●ゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数５時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①ゴムの力と車の走り方	3				
	○ゴムの力で走る車を作って走らせ調べる 発しゃ台の作り方		1		●	
	●ゴムののびの長さをかえて，車の走るきょりを調べる 【１実けん】		2		●	
	●ゴムののびの長さをかえて，車の走るきょりを調べる 【１実けん】（けっかから考える） ぼうグラフのかき方		3	●	●	
2次	②ゴムの力をコントロールしよう	2				
	●車の走るきょりを，ゴムをのばす長さでコントロールできるか調べる 【２実けん】 □やってみよう！　ゴムの力をくらべよう		4・5		●	●

10 明かりをつけよう

教科書 p.128 ～ 141

豆電球に明かりをつける中で，電気の回路を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を予想したり整理しまとめる力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ●電気を通す物と通さない物があることを理解している。 ●電気の回路について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●電気の回路について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●電気の回路について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●電気の回路についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数７時間＋ゆとり７時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①豆電球に明かりをつけよう	2 (1)				
	○豆電球に明かりをつけて調べる		1・2	●	●	
	●豆電球に明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方を調べる　【１実けん】 ※豆電球の中は					
2次	② 電気を通すものと通さないもの	3				
	●電気を通すものを調べる　【２実けん】 どう線のつなぎ方		3・4		●	●
	□やってみよう！　かんの横にも電気が通る ※金ぞくのせいしつ		5		●	
3次	③スイッチを作ろう	2				
	○きほんのスイッチ、いろいろなスイッチを作り，しくみを考える ○スイッチを入れた回路を使ったおもちゃを作り，くふうや遊び方を説明する ※回路をつなぐ		6・7	●		●

11 じしゃくのひみつ

教科書 p.142 ～ 157

磁石にものを近づけるなどその性質を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や結果を予想し整理してまとめる力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること，また，磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。 ●磁石の異極は引き合い，同極は退け合うことを理解している。 ●磁石の性質について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●磁石の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●磁石の性質について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数１０時間＋ゆとり２時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①じしゃくに引きつけられるもの	5				
	○じしゃくに引きつけられるものをさがす		1		●	
	●じしゃくに引きつけられるものを調べる　【1実けん】		2・3	●	●	
	□やってみよう！　はなれていても引きつける力		4	●		
	□やってみよう！　ものを分ける		5		●	
2次	②じしゃくのせいしつ	2				
	●じしゃくの，鉄を引きつける力が強い部分を調べる　【2実けん】		6		●	●
	●じしゃくのきょくのせいしつを調べる　【3実けん】 ※じしゃくと方位じしん　※地球は大きなじしゃく		7	●	●	
3次	③じしゃくのはたらき	3 (2)				
	●くぎがじしゃくになっているか調べる　【4実けん】 ※はなれていてもはたらく力		8		●	
	○じしゃくのせいしつをりようしたおもちゃを作る		9・10			●

12 ものの重さを調べよう

教科書 p.158 ～ 166

物の重さについて，物の形や体積と重さを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身につけるとともに，差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や計画を立て結果から考える力，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

観　点	評　価　規　準
知識・技能	●物は，形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 ●物は，体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 ●物の性質について，器具や機器を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	●物の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。 ●物の性質について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	●物の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

○活動　●観察・実験　□やってみよう　※もっとしりたい

	学習活動（総時数 6 時間＋ゆとり 2 時間）		時	評価の重点 知	思	態
1次	①ものの重さをくらべよう	3 (1)				
	○身の回りのものの重さを調べる　はかりの使い方		1	●	●	
	●ねん土のおき方や形をかえて，重さを調べる　【1実けん】 □やってみよう！　形をかえて重さを調べる		2・3		●	
2次	②もののしゅるいと重さ	3 (1)				
	●ものを同じ体せきにし，重さをくらべる　【2実けん】　すり切りのしかた（同じ体せきにする） ○やってみよう！　同じ体せきのものの重さを調べる　※水と油をくらべると		4・5	●	●	
	○ものの重さについて学習したことをまとめる。		6			●